



# 決算説明会

2024年12月期



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

# 岡部グループの事業領域 (2024年12月期連結)

## 多角化事業

- リフトテーブル等の製造・販売
- 海洋資材製品の製造・販売
- 自動車向けボルト・ナット類の販売 など



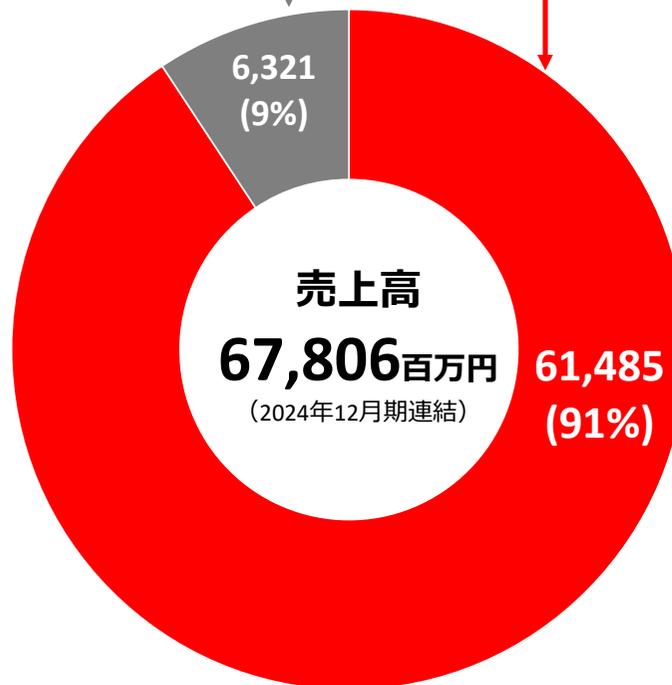
## 建設関連製品事業

<国内>

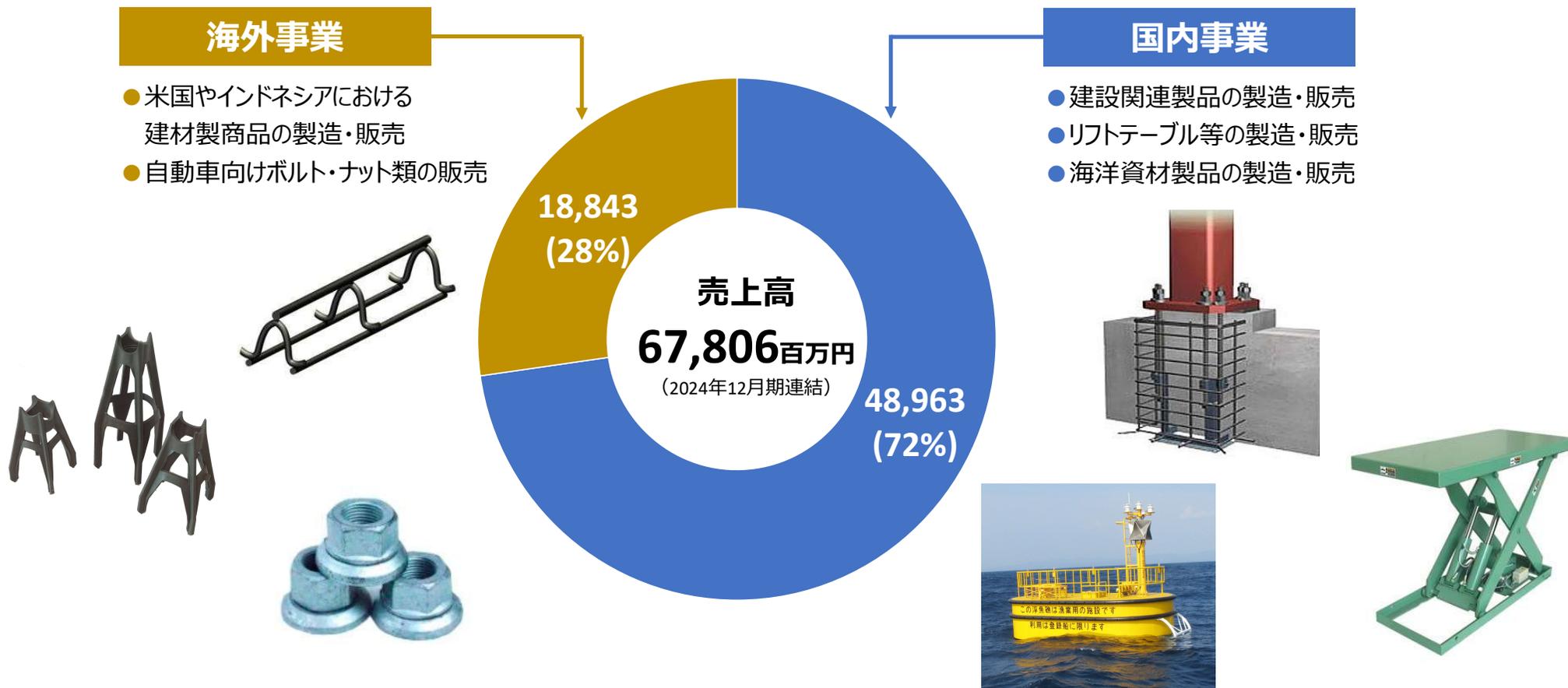
- 仮設・型枠製品
- 土木製品
- 構造機材製品
- 建材商品

<海外>

- 建材製商品



# 国内・海外売上比率 (2024年12月期連結)



# 本日のアジェンダ

## I. 2024年12月期 通期連結業績概要

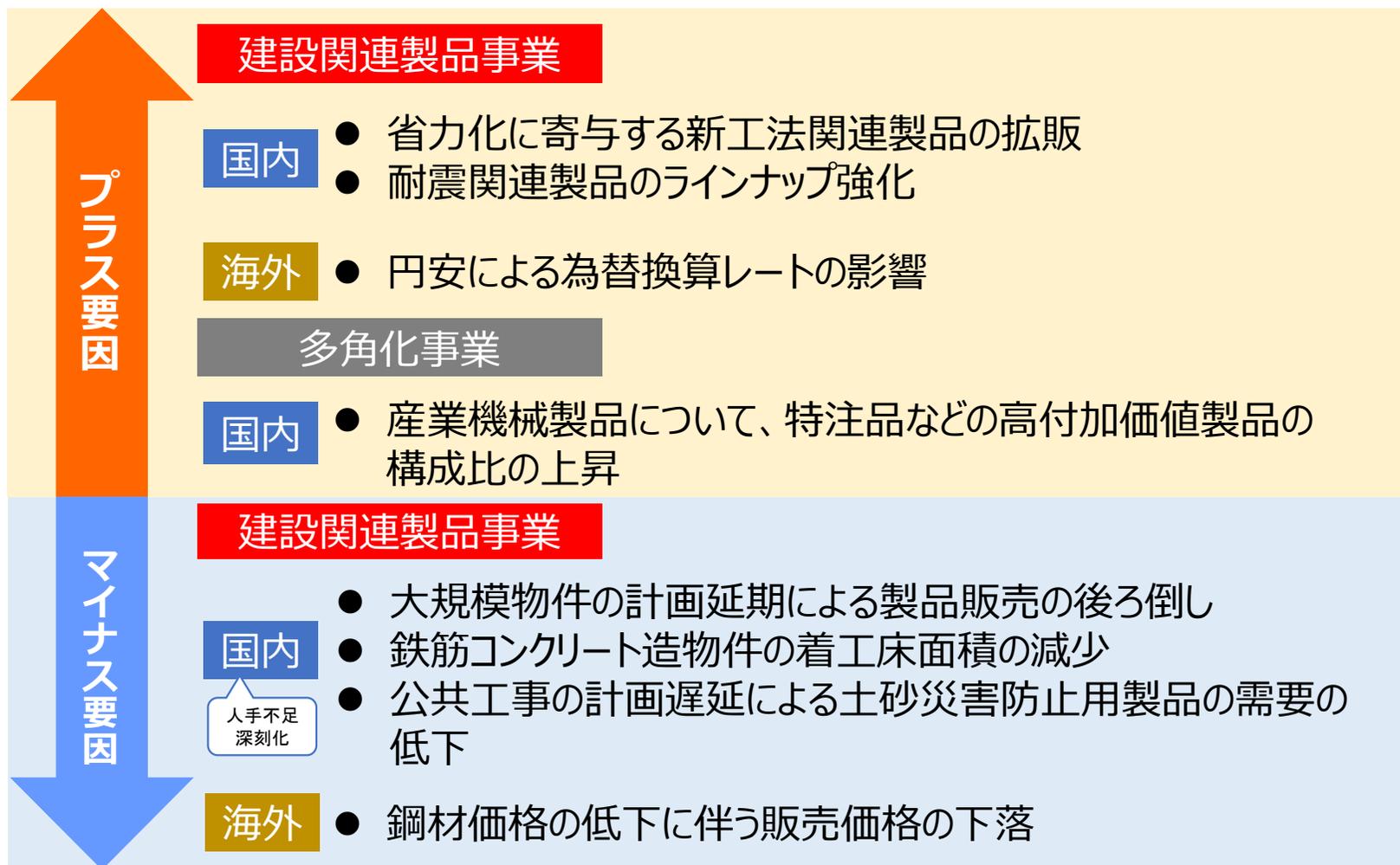
## II. 2025年12月期 通期連結業績の見通し

## III. Topics

- ① 型枠一本締め工法の販売開始
- ② セレクトベースの採用拡大中
- ③ ブルーカーボン事業の推進
- ④ 株主還元施策

## I. 2024年12月期 通期連結業績概要

# 2024年度サマリー



# 事業別・製品別売上高【前期比】

(単位：百万円)

	2023 通期実績	2024 通期実績	増減額	増減率	
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	7,288	<b>7,057</b>	△231	△3.2%
	土木製品	7,428	<b>6,892</b>	△536	△7.2%
	構造機材製品	20,450	<b>20,207</b>	△243	△1.2%
	建材商品	11,799	<b>11,011</b>	△788	△6.7%
	建材製商品(海外)	17,160	<b>16,318</b>	△841	△4.9%
	当事業計	64,128	<b>61,485</b>	△2,642	△4.1%
多角化事業	14,024	<b>6,321</b>	△7,703	△54.9%	
合計	78,152	<b>67,806</b>	△10,346	△13.2%	

※1 主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2 自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より同事業を多角化事業に再分類したため、2023年度についても変更しております。

# 事業別営業利益【前期比】

(単位：百万円)	2023 通期実績	2024 通期実績	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,066	3,448	△618	△15.2%
多角化事業	16	746	730	— %
合計	4,082	4,194	111	2.7%

※1 主に自動車関連製品（バッテリー端子製品等）の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2 自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より同事業を多角化事業に再分類したため、2023年度についても変更しております。

# 連結業績概況 【前期比】

(単位：百万円)	2023 通期実績	2024 通期実績	増減額	増減率
売上高	78,152	<b>67,806</b>	△10,346	△13.2%
営業利益	4,082	<b>4,194</b>	111	2.7%
(営業利益率)	5.2%	<b>6.2%</b>	1.0Pt	—
経常利益	4,303	<b>4,422</b>	119	2.8%
親会社株主に帰属する 当期純損失	△5,472	<b>△874</b>	4,598	—

※主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

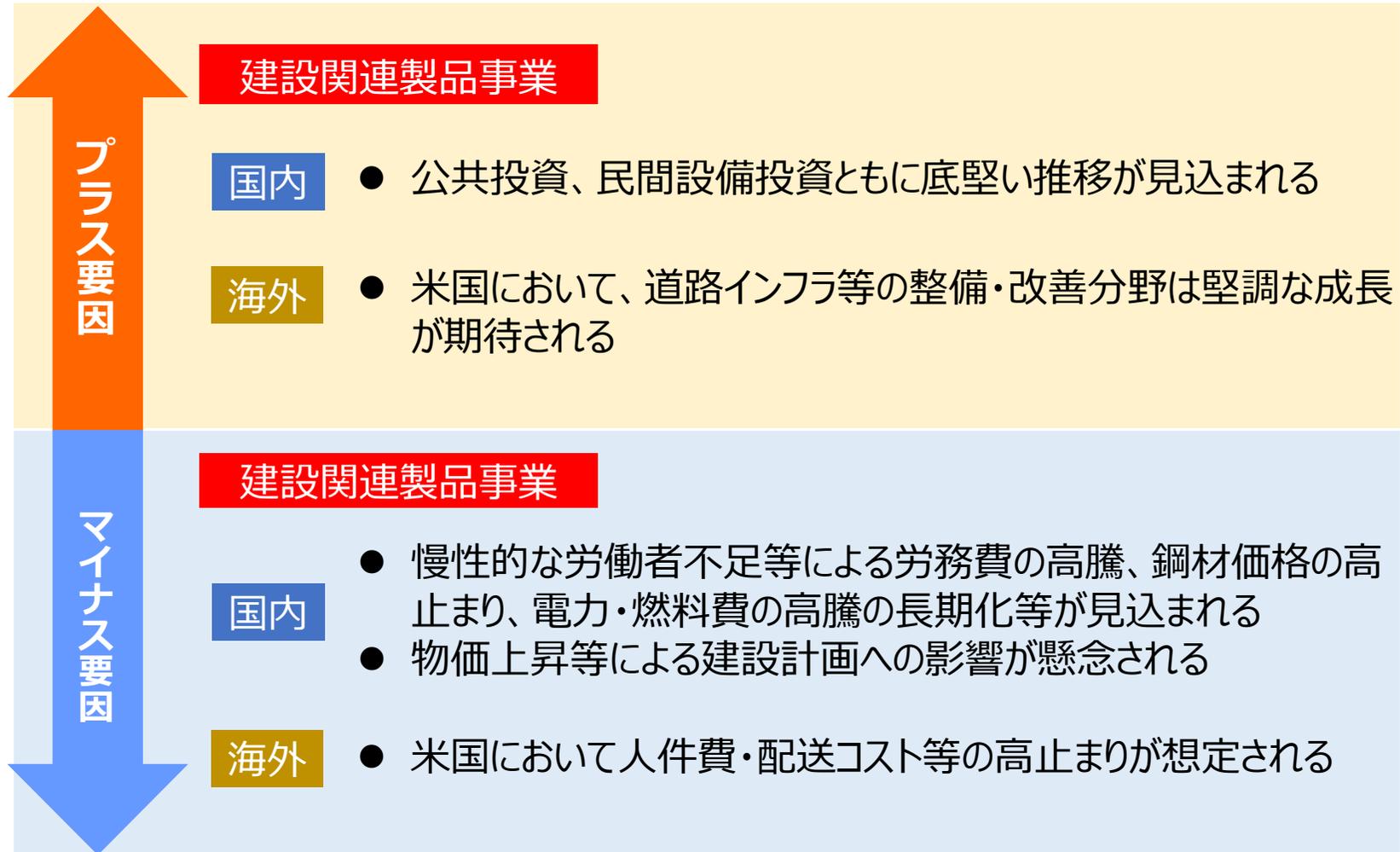
## 連結財政状態 【前年同期比】

(単位：百万円)		2023 期末	2024 期末	増減額
資	産	89,885	<b>86,993</b>	△2,891
負	債	27,824	<b>27,452</b>	△372
(有利子負債)		6,918	<b>6,130</b>	△788
純	資 産	62,060	<b>59,541</b>	△2,519
自己資本比率		69.0%	<b>68.4%</b>	△0.6Pt

---

## Ⅱ. 2025年12月期 通期連結業績の見通し

# 2025年度の見通し



# 各事業の製品別の見通し

## 建設関連 製品事業

- 国内：(仮設・型枠製品) 新工法関連製品の拡販やレンタル事業の加速等の取組みにより増収を想定
- (土木製品) 災害復旧工事及び老朽化対策工事の需要取込みによる増収を想定
- (構造機材製品) 杭頭製品や改良型柱脚工法製品の販売強化による増収を想定
- 海外：(米国) 鋼材価格変動に伴い販売価格への影響はあるものの建材製商品の更なる拡販、為替によるプラス面を想定
- (インドネシア) 店舗事業の業容拡大による増収を想定

## 多角化 事業

- 自動車関連：トラック・トレーラー業界の景気回復によるボルト・ナット類の拡販を想定
- 産業機械：顧客ニーズに対応したオーダー品の受注及びメンテナンス営業の取組み開始による増収を想定
- 海洋資材：魚礁・浮魚礁・藻場礁の継続的安定受注を想定

# アクションプラン

## 全社の方針

- ・中期経営計画「OX-2026」の推進
- ・事業環境の変化やリスクを機会ととらえ、国内外のマテリアリティ（重要課題）にソリューションを提供、経営リソースを集中し、サステナビリティ経営の推進を目指す

## 建設関連製品事業

### 国内

- 社会課題（省力化・防災減災・環境）解決に貢献する製商品拡販
- 顧客ニーズの発掘と共有によるソリューションの提案
- カスタマーセントリックの実践・顧客の要望に対応できる組織の確立
- DX推進による技術支援サービスの強化

### 海外

- 米国の工場・倉庫拡張による生産・物流の最適化
- インドネシア新規事業の業容拡大
- 各海外子会社の営業基盤及びカバナンスの強化

# 2025年度通期連結業績予想

(単位：百万円)	2024 通期実績	2025 通期予想	増減額	増減率
売上高	67,806	<b>72,500</b>	4,693	6.9%
営業利益	4,194	<b>4,700</b>	505	12.0%
(営業利益率)	6.2%	<b>6.5%</b>	0.3Pt	—
経常利益	4,422	<b>4,800</b>	377	8.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	△874	<b>3,120</b>	3,994	—

# 2025年度通期事業別・製品別売上高予想

(単位：百万円)

		2024 通期実績	2025 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	7,057	<b>7,692</b>	634	9.0%
	土木製品	6,892	<b>7,454</b>	561	8.2%
	構造機材製品	20,207	<b>21,630</b>	1,422	7.0%
	建材商品	11,011	<b>10,877</b>	△134	△1.2%
	建材製商品(海外)	16,318	<b>17,685</b>	1,366	8.4%
	当事業計	61,485	<b>65,338</b>	3,852	6.3%
多角化事業	6,321	<b>7,162</b>	840	13.3%	
合計	67,806	<b>72,500</b>	4,693	6.9%	

# 2025年度通期事業別営業利益予想

(単位：百万円)

	2024 通期実績	2025 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	3,448	<b>3,857</b>	408	11.9%
多角化事業	746	<b>843</b>	96	12.9%
合計	4,194	<b>4,700</b>	505	12.0%

### Ⅲ. Topics

- ① 型枠一本締め工法の販売開始
- ② セレクトベースの採用拡大中
- ③ ブルーカーボン事業の推進
- ④ 株主還元施策

## BUSINESS

建設関連製品  
事業

多角化  
事業

## STRATEGY

人的資本経営の実践  
経営基盤の強化

カスタマー・  
セントリック

DXの  
更なる推進

## VISION

これまでも、そしてこれからも

建設を支える耐震建材メーカーとして培った

**「創造力」×「つなぐ力」×「人の力」**で

世界中の人々の生活に安全・安心を提供する  
グローバル・ソリューションプロバイダー

### 重点的に取り組むSDGs



## ① 型枠一本締め工法の販売開始

カスタマー・セントリック：建設関連製品事業（国内）

「型枠一本締め工法」の拡販による、ユーザーの省力化ニーズへの対応

Before



After



運搬・保管・作業時におけるスペースの有効活用

技能者の作業負担の低減、施工性及び安全性の向上

作業手間の低減による工期の短縮や労務費の低減

運搬時のCO<sub>2</sub>排出量の削減

高リサイクル率のアルミ製パイプ使用による環境負荷の低減

# ① 型枠一本締め工法の販売開始

カスタマー・セントリック：建設関連製品事業（国内）

「型枠一本締め工法」の拡販による、ユーザーの省力化ニーズへの対応



施工例



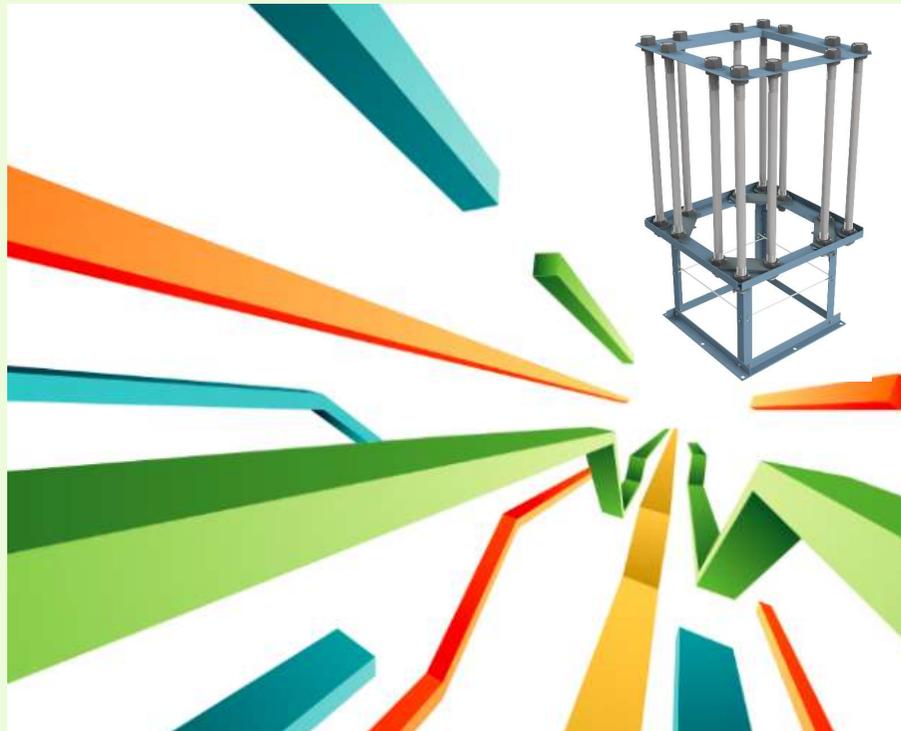
専用緊結金具『ネクスタイ』

◆ 目標売上高 ◆  
5年間累計 20億円



## ②セレクトベースの採用拡大中

カスタマー・セントリック：建設関連製品事業（国内）



### セレクトベース

露出型弾性固定柱脚工法

## より多彩で自由な選択を

施工実績35年以上のベースバックの技術を活かして誕生したセレクトベース。  
設計に応じてセレクト可能な柱脚ヒンジタイプの露出型弾性固定柱脚工法です。

### ③ブルーカーボン事業の推進

#### カスタマー・セントリック：その他の事業（国内）

- ・ホンダワラ類の完全養殖技術の開発（2023年4月～）
- ・多段式の海藻養殖技術の開発（2023年9月～）
- ・ブルーカーボン推進部の新設（2025年1月）



## ④株主還元施策 - 株主還元方針の変更 -

### 変更後

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題として位置づけております。資本効率の重要性を認識するとともに、財務体質の健全性を維持した上で、業績に応じた利益配分を行うこととし、持続的な成長の実現等により中長期にわたる配当水準の安定的な向上を目指すことを基本方針としております。

毎期の配当額は、配当性向40%以上を原則とし、かつ株主資本配当率（DOE）3%以上を目安にしております。

また、株価の水準と機動的な資本政策等遂行の必要性、財務体質への影響等を考慮したうえで、収益力強化と併せた資本構成の最適化によるROEの向上及びPBR 1倍超の達成を図るため、総合的に判断して、特別配当の実施及び自己株式の取得を機動的に実行いたします。

なお、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。

### 主な変更点

配当性向：30%以上を目安⇒**40%以上を原則**

株主資本配当率（DOE）：**3%以上を目安**

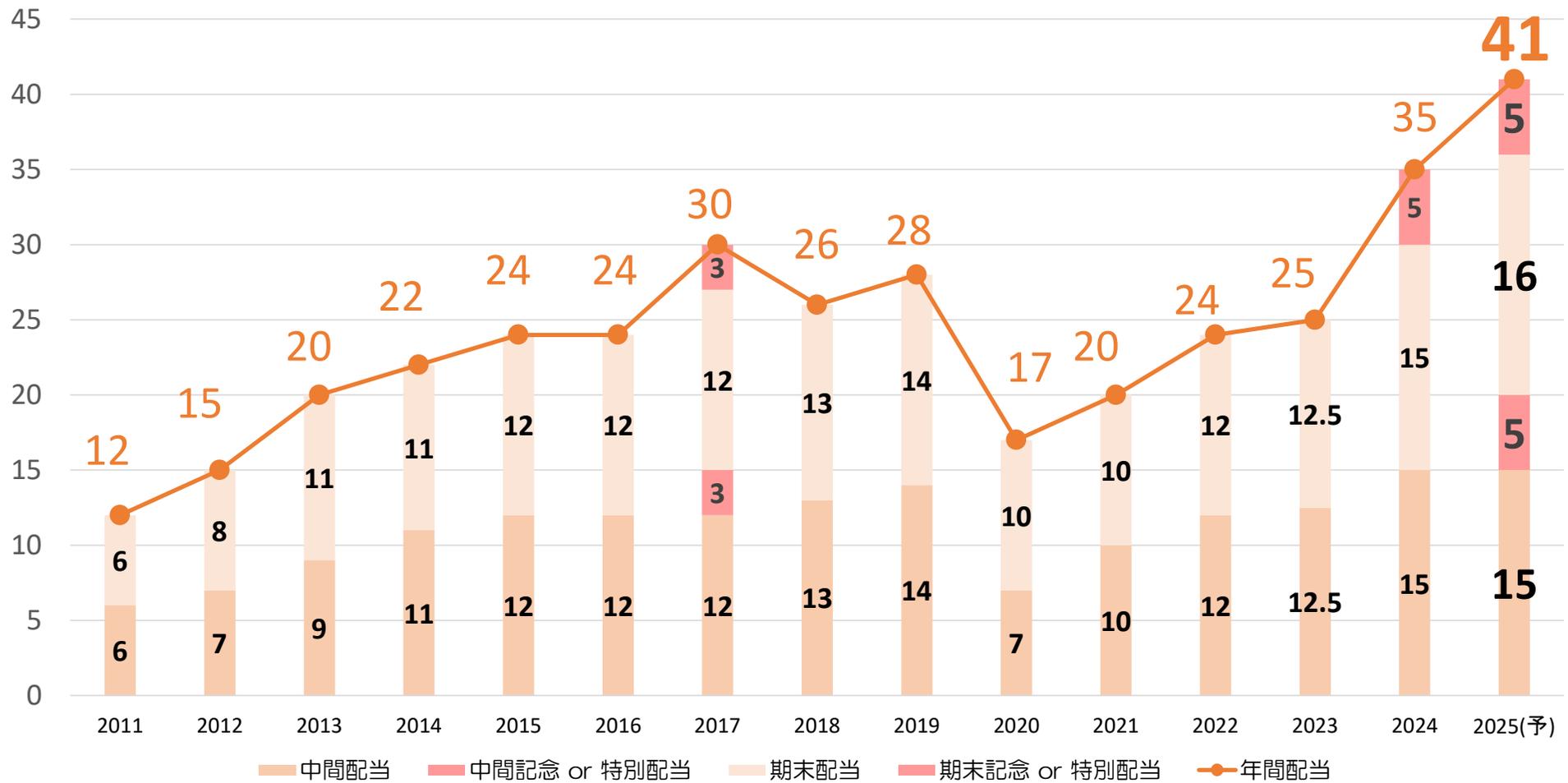
**特別配当の実施**及び自己株式取得の機動的な実行

## ④株主還元 - 配当について -

	2023	2024	2025(予想)
1株当たり 当期純利益(円)	△118.22	△18.91	<b>67.46</b>
1株当たり 配当金額(円)	25.00	35.00 (普通配当：30.00) (特別配当：5.00)	<b>41.00</b> (普通配当：31.00) (特別配当：10.00)
連結配当性向	—%	—%	<b>60.8%</b>
株主資本配当率 (DOE)	1.8%	2.7%	<b>3.2%</b>

## ④株主還元 - 配当単価の推移 -

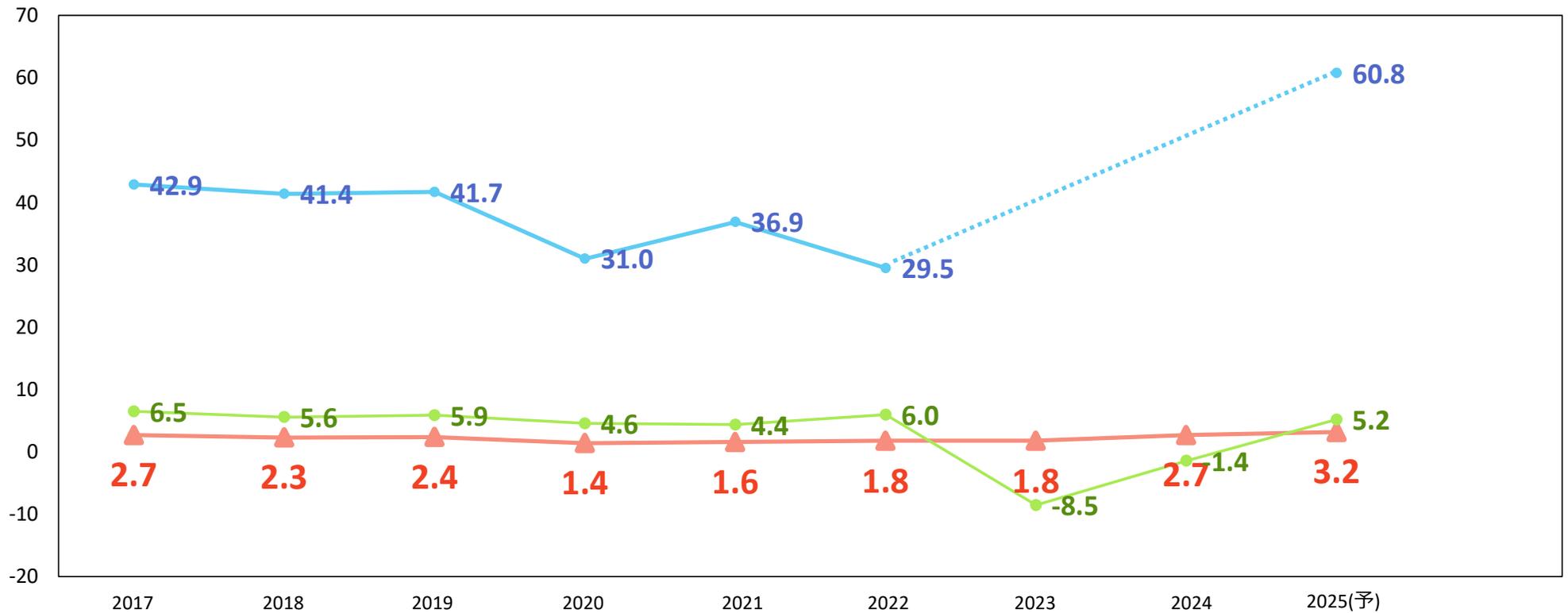
(単位：円)



## ④株主還元 - 株主還元指標等の推移 -

(単位：%)

● 配当性向 ▲ DOE ● ROE



## ④株主還元 – 特別配当の実施・自己株式の取得 –

### 特別配当の実施

- ・ 2024年12月期 特別配当： 5円（中間0円、期末5円）
- ・ 2025年12月期（予想） 特別配当： 10円（中間5円、期末5円）

### 自己株式の取得

- ① 取得する株式の種類 : 当社普通株式
- ② 取得し得る株式の総数 : 850,000 株（上限）  
(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.83%)
- ③ 取得価額の総額 : 6 億円（上限）
- ④ 取得期間 : 2025年 2月17日～2025年 7月18日
- ⑤ 取得方法 : 証券会社による投資一任方式



# 決算説明会

2024年12月期



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

---

# 参考資料

## 2025年度通期連結業績予想 (上期・下期)

(単位：百万円)

	2025 上期予想	2025 下期予想	2025 通期予想
売上高	34,600	37,900	<b>72,500</b>
営業利益	1,950	2,750	<b>4,700</b>
経常利益	2,000	2,800	<b>4,800</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,350	1,770	<b>3,120</b>

## 2025年度事業別・製品別売上高予想 (上期・下期)

(単位：百万円)

		2025 上期予想	2025 下期予想	2025 通期予想
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	3,784	3,908	7,692
	土木製品	3,562	3,892	7,454
	構造機材製品	10,445	11,185	21,630
	建材商品	5,354	5,523	10,877
	建材製商品(海外)	8,103	9,582	17,685
	当事業計	31,248	34,090	65,338
多角化事業	3,352	3,810	7,162	
合計	34,600	37,900	72,500	

## 2025年度事業別営業利益予想 (上期・下期)

(単位：百万円)

	2025 上期予想	2025 下期予想	2025 通期予想
建設関連製品事業	1,613	2,244	3,857
多角化事業	337	506	843
合計	1,950	2,750	4,700